

26年度 自立支援協議会 議事録

会議	部会名	第 1 回	療 育	部会	参加者数	39 人	会場	福祉まちづくりセンター
	日時	26 年 7 月 9 日 (水)	~	17:20				2階 大会議室
主 テ ー マ	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の活動計画について 2 支援を縦につなぐ個別のファイル(試案)の提案と意見交換 3 発達障がいペアレント・メンターについて 							
主 な 意 見 な ど	<ol style="list-style-type: none"> 1 について(部会長より) <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、支援を縦につなぐスムーズな情報共有のあり方をテーマに、伊那養護学校からの提案をもとに部会で議論し、何らかの方向性や成果が得られたらと考えている。 2 について <ol style="list-style-type: none"> (1) 支援を縦につなぐ個別のファイル(試案)の提案(伊那養護学校担当教諭より) <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期から、成人後まで、必要な情報が重複したり、途切れたりすることなく、分かりやすい形で整理され引き継がれていく工夫として、養護学校での具体的な取り組みを例示しながら、お話いただいた。 ・個別の教育支援計画については、情報を4つのシートに整理してつないでいく方法、移行支援計画については、1人1人の情報を個別ファイルに整理していく方法が、試案として示された。 (2) 提案を受けての意見交換 <ol style="list-style-type: none"> ア 行政機関より <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報共有のあり方について、医師の意見書の取扱い等、細部の検討が必要な部分もある。 ・圏域内統一様式を目指すのか、県で提案しているICFシートとの関係性も議論する必要がある。 イ 事業所・医療機関より <ul style="list-style-type: none"> ・成育歴再確認の負担減、保護者との関わり方等、必要な情報共有は社会へつなぐ上でも大切と思う。事業所間でも上手な情報の引継や共有ができるかよいのではないか。 ウ 保護者より <ul style="list-style-type: none"> ・様式が次々と変わったり、同じことを繰り返し書いたりする現状が少しでも改善されればと思う。 エ 学校関係者より <ul style="list-style-type: none"> ・検討メンバーについては、多方面の参加を呼びかけ議論を進めてほしい。(高校、医療、保健師等々) オ アドバイザーより <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキンググループを作って煮詰めるなど、議論の進め方も検討してみてもどうか。 (部会長より) <ul style="list-style-type: none"> ・個々の段階では、丁寧なものが作られている。縦につなぐとき、いかに使いやすくするかが大切。 ・議論の進め方や圏域として統一使用を目指すのか、モデル案とするか等も含めて検討していきたい。 3 について(つばさの会 保護者より) <ul style="list-style-type: none"> 長野県発達障がいペアレント・メンターについての紹介があった。 ・発達障がいのお子さんを育てた経験のある保護者が、信頼できる相談相手として、悩みを共感したり、子育ての経験を話したり、必要な情報提供を行ったりしている。 ・個別相談ではなく、グループ相談形式。希望する場合は、長野県発達障害者支援センターへ連絡する。ぜひ積極的な活用をお願いしたい。 							
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を縦につなぐ情報共有のあり方という今年度の活動テーマを確認することができた。 ・テーマに即した伊那養護学校からの具体的な提案を受け、意見交換を行い、議論を深めることができた。 							
次 回	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細については、後日お知らせする。 							

26年度 自立支援協議会議事録

会議	部会名	療 育 部会	参加者数	人	会場	福祉まちづくりセンター
	日時	年 月 日 () ~				
主 テ マ	療育部会 ワーキンググループ 「支援を縦につなぐための個別ファイルの作成」 ・ワーキンググループは、部会長・副部会長・事務局に加えた参加希望者で組織する。 ・全5回にわたり、対象者別に関係者が集まり、必要項目の設定など意見交換を行う。 ・草案作りを27年2月頃までに行う。					
主 な 意 見 な ど	<p>< 第1回ワーキンググループ > 日時:8月27日(水)10時~12時 / 対象:保護者13人 (全体で20人) 目的:支援の必要な人の情報をまとめるファイルを作りたい。</p> <p>< 第2回ワーキンググループ > 日時:9月25日(木)15時30分~17時 / 対象:高校、事業所3人 (全体で12人) 目的:それぞれでやった支援がつながりにくい。高校がほしい情報、まとめたい情報、外に送りたい情報とは何か。</p> <p>< 第3回ワーキンググループ > 日時:10月30日(木)15時30分~17時 / 対象:小学校、中学校5人 (全体で17人) 目的:小中学校の現状の共有。自由に意見を出し合う。</p> <p>< 第4回ワーキンググループ > 日時:12月5日(金)15時30~17時 / 対象:保育園、保健師、医療機関21人 (全体で30人) 目的:それぞれの情報のつなぎ方について共有。自由に意見を出し合う。</p> <p>< 第5回ワーキンググループ > 日時:12月11日(木)15時30分~16時30分 (部会長、副部会長、事務局7人) 目的:木曾版プレ支援シートの検討 @木曾圏域地域自立支援協議会療育部会に参加</p>					
ま と め	第1回~第5回のワーキンググループで行われた内容を、第7回療育部会で報告する。					
次 回						

26年度 自立支援協議会議事録

会議	部会名	第4回重心・第6回療育 合同部会	参加者数	46 人	会場	伊那市福祉まちづくりセンター 2階 大会議室
	日時	27年 2月 16日(月) 14:00 ~ 16:00				
主 題 マ	<p>1 各部会等からの報告</p> <p>2 講演会 テーマ:「重症心身障がい児・者の地域生活 ~ 医療と関係機関との連携 ~」</p>					
主 な 意 見 な ど	<p>1 について</p> <p>今年度の活動経過について、それぞれの部会長等から報告が行われた。概要は、次のとおり。</p> <p>(1)重心・要医療的ケア部会より(市瀬部会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・25年度に引き続き、伊那養護学校つくしグループの懇談会に部会として参加し、部会としてできることを短期目標(既存資源の有効活用)と長期目標(療養型の施設等の新設)に照らし合わせて検討してきた。 ・長期目標は、今年度の県の自立支援協議会へ課題提起したので、さらに検討を重ねることを部会として確認した。 ・他圏域の取組みの様子や圏域の課題を探るため、本日の講演会を通して学びを深めていきたい。 <p>(2)療育部会より(小笠原部会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期からの支援を成人まで確実につないでいけるようにしたいとの願いから、「支援を縦につなぐ個別のファイル」(試案)を作成するため、ワーキンググループを立ち上げ、関係者の意見を踏まえ、検討を重ねてきた。 ・第7回療育部会において、1年間の検討結果を報告する予定である。 ・報告を踏まえ、引き続きご意見をいただきながら検討し、可能であれば平成28年度頃から実際に活用していけるよう準備を進めていけたらと考えている。 <p>(3)伊那保健福祉事務所より(田中主査保健師)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野県では、今年度重症心身障がい児全数把握調査を実施し、上伊那圏域でも正確なりストを作成することができた。 ・調査をもとに、今後はニーズ把握と社会資源の充足状況等を多角的に検証していく予定である。 ・本日の講演会は、当所事業の一環でもあり、今後の方向性を探るヒントになればと願っている。 <p>2 について</p> <p>講演:「重症心身障害児生活実態調査 報告と他圏域の取り組み」 講師: 長野こども療育推進サークル ゆうテラス 代表 亀井智泉 氏</p> <p>質疑応答(略)</p>					
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・両部会の今年度の活動経過について、情報を共有することができた。 ・講演会を通して、他圏域の取組みを学び、圏域の課題を改めて考えるきっかけとすることができた。 					
次 回	<ul style="list-style-type: none"> ・重心部会は、今年度はこれで終了です。多くみなさんのご参加、ありがとうございました。 ・療育部会は、3月3日(火) 15:30~17:00 伊那養護学校 にて、第7回部会を開催いたします。 					

26年度 自立支援協議会議事録

会議	部会名	第 7 回 療 育 部会	参加者数	29 人	会場	伊那養護学校 会議室
	日時	27年 3月 3日(火) 15:30 ~ 17:00				
主 題 マ	<ol style="list-style-type: none"> 1 「支援を縦につなぐ個別のファイル」作成経過報告 2 「支援を縦につなぐ個別のファイル」(案)の検討 3 今後の見通し等 					
主 な 意 見 な ど	<ol style="list-style-type: none"> 1 について(部会長より) <ul style="list-style-type: none"> ・第1回部会において、「支援を縦につなぐ個別のファイル」作成の提案を行った。 ・ワーキンググループを立ち上げ、「保護者」「高校・事業所」「小中学校」「保育園・保健師・医療機関」の4回に分け関係者の意見集約を行い、議論を深めてきた。 ・12月には事務局スタッフが木曾圏域の療育部会に参加し、「木曾版プレ支援シート」の検討を行った。その後、事務局検討会議を経て、本日の提案に至っている。 2 について <ol style="list-style-type: none"> (1)「支援を縦につなぐ個別のファイル」(事務局原案)の概要説明(部会長より) <ol style="list-style-type: none"> ア 作成の基本的視点 記入者が書きやすいもの 引継者が見やすいもの 有効に活用できるもの イ シート構成(現時点の暫定版) 支援の履歴 乳児検診相談の記録票 発育発達支援個人票 児童発達支援事業所 保育園・幼稚園 小学校1～3年 小学校4～6年 中学校1～3年 高等学校1～3年 保護者・関係者記録票 ・A4縦 各1枚を基本とする(ただし、 については、必要に応じ枚数を自由に調整可能)。 ・ファイリング形式で、必要に応じて追加情報も差し込める形を考えている。 (2) 意見交換(主な質問・意見・要望等) <ol style="list-style-type: none"> ア 保護者より <ul style="list-style-type: none"> ・支援の履歴シートは、記入欄がやや狭いと感じる。他シートもしっかり記入したい方のために、できれば、自由にシートを追加できる形がありがたい。 ・高卒後のファイル保管について、保護者が管理方法(個人・行政保管等)を選択できるとよい気がする。今、ファイルがどこにあり誰が管理しているかの情報は、把握できるようにしたい。 ・より多くの保護者意見の再集約及び検討会参加者への本日の報告のフィードバックをお願いしたい。 イ 事業所より <ul style="list-style-type: none"> ・中途あるいは成人してから障がい判明した方のファイル作成と情報共有のあり方が課題と思う。 ・高卒後、問題なく一般就労し、再び支援が必要になった場合、ファイルはどこに保管されているのか。また、その場合、一般就労期間の情報が抜け落ちてしまう点が気がかりである。 ウ 学校より <ul style="list-style-type: none"> ・このファイルをベースに、上級学校が求める+ の詳細情報を付加してつなぐ形が望ましいのでは。 ・一人一人に応じて一番書きやすく伝えやすいフォーマットを選択し、ファイリングしていくのはどうか。 ・異動してきた教員も分かるよう、毎年必ず決まった時期にこの会で話題にする等、継続周知の工夫を。 3 について(部会長より) <ol style="list-style-type: none"> (1) 残されている主な検討課題 <ul style="list-style-type: none"> ・今後さらに付加すべきファイルの中身(例:同意書等)及び形式・字句・表現等の検討。 ・手引書の作成と普及活動の検討。 (2) 今後の見通し <ul style="list-style-type: none"> ・27年度、部会参加者みんなで練り上げ、成案とし、平成28年度頃からの使用を目標としたい。 					
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・「支援を縦につなぐ個別のファイル」(案)を皆で検討し、今後の見通しについて確認することができた。 					
次 回	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は、7回の部会を開催してきた。多くのおみなさんのご参加、ありがとうございました。来年度も引き続き、積極的なご参加をよろしく願います。 					